

新興国レポート

# インド株式 (SENSEX指数) の上昇続く

7月24日の終値は史上最高値まであと10%弱に迫る

- ▶ SENSEX指数が上昇基調で推移している。7月23日には約4ヵ月半ぶりに38,000台を回復。
- ▶ 追加経済対策期待等を背景に、SENSEX指数は当面上昇傾向を続けるものと思われる。但し、経済活動再開の動きが停滞する場合や米中貿易摩擦が再燃する場合等には、調整局面入りすることも想定される。

## (1) SENSEX指数の上昇続く

- SENSEX指数が上昇基調で推移しています。7月23日には約4ヵ月半ぶりに38,000台を回復しました。7月24日時点の終値は、新型コロナウイルス感染拡大後の安値である3月24日終値から46.8%上昇し、史上最高値である1月14日終値まではあと10%弱の水準まで回復しています(図表1)。主要セクター別に3月24日から7月24日までの騰落率をみると、ヘルスケア(+55.2%)やIT(情報通信)(+55.1%)等がSENSEX指数の上昇率を上回っているのに対し、不動産(+16.0%)や公益(+23.5%)等は低迷しています。セクター間のパフォーマンス格差が大きくなっています(図表2)。

## (2) 主な上昇要因

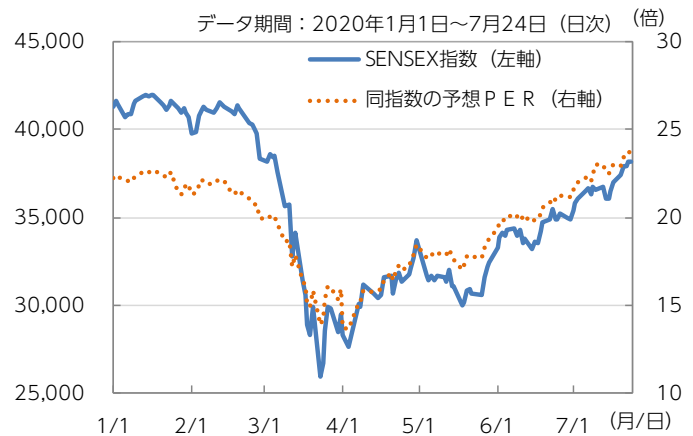
- 主な上昇要因として、主要国中央銀行の金融緩和策による世界的なカネ余りに加え、以下が考えられます。
  - ① 追加経済対策期待の高まり：悪化が続く5月の工業生産指標の発表や都市封鎖の7月末までの延長等を受けて、追加経済対策期待が高まったこと。
  - ② 大手IT企業等の市場予想を上回る決算発表：大手ITやソフトウェア関連企業等の2020年4~6月期決算が市場予想を上回ったこと
  - ③ Googleのインドへの巨額投資発表：Googleが今後5年から7年の間にインドに100億ドル(約1兆700億円)を投資すると発表したこと
  - ④ 新型コロナウイルスワクチン開発への期待：ワクチン開発競争に伴い、ヘルスケア銘柄が物色されたこと

## (3) 今後の見通し

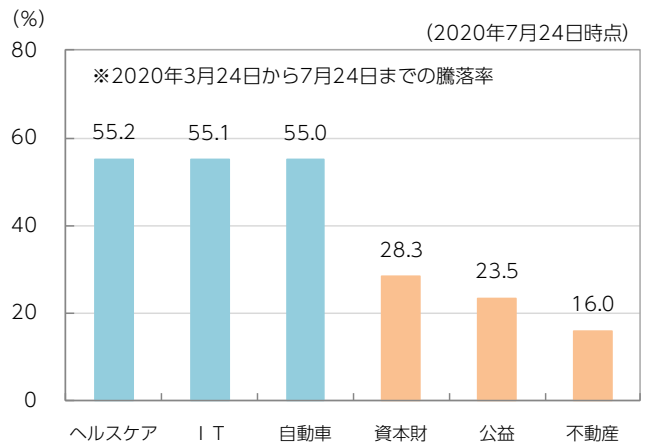
- 追加経済対策期待等を背景に、5G(第5世代移動通信システム)の普及で成長が期待されるIT銘柄等をけん引役として、SENSEX指数は当面上昇基調で推移するものと思われます。尚、インド国内で新型コロナウイルスの感染が拡大していること(図表3)や、予想PER(株価収益率)が23倍台に上昇していること(図表1)、また香港の自治問題等を巡り米中関係が悪化しつつあることには注意が必要であるように思われます。経済活動再開の動きが停滞する場合や米中貿易摩擦が再燃する場合等には、調整局面入りすることも考えられます。

出所) 図表1~3はブルームバーグデータをもとに  
ニッセイアセットマネジメントが作成

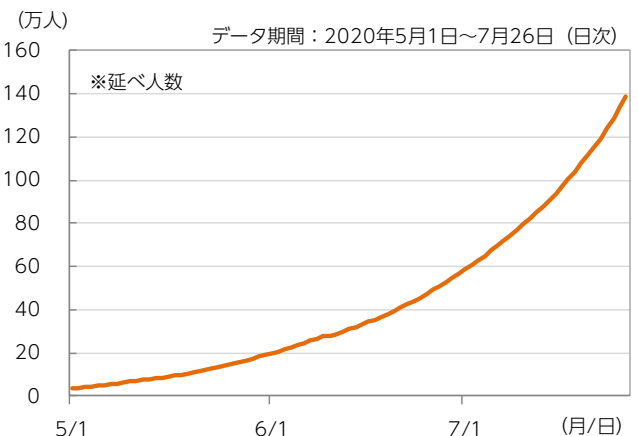
図表1：センセックス指数と予想PER



図表2：主要セクター別騰落率



図表3：インドの新型コロナウイルス感染者数



## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>